

松原市教育委員会 4月定例会 議事録

1. 日 時 令和4年4月20日(水) 午後4時00分

2. 場 所 松原市役所 301会議室

3. 付議事件等

(1) 報 告 第3号 人事異動の専決処分の承認を求めることについて

(2) その他 ○令和4年度小学校連合運動会の中止について

○小中学校におけるメッセージ電話対応について

出席委員 美濃教育長 栗崎教育長職務代理者 田中教育委員 有馬教育委員
和田教育委員 佐野教育委員

事務局 小峰教育総務部長 山森学校教育部長
田中教育総務部次長兼文化財課長 森岡副理事兼学校給食課長
矢野学校教育部次長
田中教育総務課長 猪俣教職員課長 森教育推進課長 前崎地域教育課長
大西教育研修センター長

美濃教育長

それでは、会議に入りたいと思います。

ただいまの出席委員は5名でございます。私を含めまして定足数に達しておりますので、会議は成立しております。

(開会宣言 午後3時00分)

これより4月定例教育委員会を開催いたします。

なお、浦井理事が欠席との届出がございましたので、ご報告をいたします。

3月定例会の会議録につきましてはまだ出来上がっておりませんので、次回定例教育委員会でお諮りしたいと思います。

次に、本日の会議録の署名委員を指名いたします。

委員会会議規則第17条第2項の規定により有馬委員にお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

有馬委員

よろしく申し上げます。

美濃教育長

まず、初めに教育長報告を行います。

お手元の資料に基づき、報告をさせていただきます。

初めに、3月31日、4月1日と退職者、人事異動者、新規採用者への辞令交付式を行いました。続いて、4月4日には、年度初めに当たり臨時校長会を開催したところです。

4月6日は、令和4年度の市町村教育委員会教育長会議が開かれまして、令和4年度の大阪府教育庁の組織体制や取組の重点事項などについての説明がございました。また、同日の19時から、令和4年度の松原市立学校運営協議会、コミュニティスクールの委員委嘱式がございまして、35名の方々に委嘱状を交付させていただきました。昨年度はあくまでも準備段階という位置づけでございましたけれども、この令和4年度から本格実施ということになりました。不登校やいじめの問題、SNSを介したトラブルなど、子供たちを取り巻く課題が複雑化・多様化している中で、未来を担う子供たちの豊かな成長を育むために、社会総がかりで教育に取り組み、「地域と共にある学校」を目指すべくご協力をいただきたいというふうをお願いしたところでございます。

4月7日には小中学校の入学式が、また、11日には幼稚園で入園式がございました。本年度も出席人数を絞ったり時間短縮を行ったりするなど、感染症対策を十分考慮して開催いたしました。

また、4月15日には大阪府都市教育長協議会令和4年度総会、また、18日には南河内地区人事協議会・南河内地区市町村教育長連絡協議会、19日には青少年指導員連絡協議会総会が開かれまして、それぞれ出席をいたしました。

大阪府は、まん延防止等重点措置に基づく要請は行われておりませんが、依然として府の新型コロナ警戒信号は赤色が点灯しております。引き続き、教育委員会としましても、感染症対策の徹底を図ってまいります。教育委員の皆様方にも、今後ともご理解とご協力をよろしく申し上げます。

私からは以上でございます。

ただいまの報告について、ご意見、ご質問等ございますでしょうか。

よろしいですか。

各 委 員

なし。

美濃教育長

では、議事に入る前に、新型コロナウイルス対策の実施による小中学校の現在の状況について、事務局から報告をお願いします。

山森学校教育
部長

本年度の状況を申し上げる前に、昨年度1年間が終わりましたので、昨年度1年間の新型コロナウイルスの状況について、総括的にまず申し上げたいと思います。

1年間、4月1日から3月31日までの児童生徒の陽性者でございますが、合計で1,181名となりました。率でいいますと、全生徒数分の15.2%ということですので、6人か7人に1人が感染をしたという状況でございます。

続きまして、教職員のほうは合計で80名が感染をいたしました。それに伴いまして、学年閉鎖は延べ61学年実施をいたしました。学校全体を閉じる臨時休校を実施した学校は全部で5校ございました。

以上が令和3年度の新型コロナウイルスに関係します総括的な数字でございます。

続きまして、令和4年度に入りまして、現在の状況等についてお知らせ申し上げます。

まず、4月でございますが、4月は19日現在で、松原市全体でいいますと735名の陽性者がおりました。小中学校につきましては、4月19日現在、昨日までに75名の陽性者が出ております。教職員につきましては4名。学級閉鎖は、本日4月20日から22日までの3日間の期間で1校が学級閉鎖に入ったところでございます。

学校の状況で申しますと、そんな中で、先ほども教育長からもございましたが、4月7日に入学式を実施いたしました。午前中は15校の小学校、午後は7校の中学校で実施をいたしました。小学校では、今年度は775名の新生徒が15校の小学校に入学をしております。中学校のほうは合計で853名の生徒が入学をしておりますので、小中学校を合わせますと1,628名が本年度の小学校及び中学校へ入学してきたという状況でございます。入学式が明けた次の4月8日は始業式が行われまして、学校に全員が戻ってまいりました。

それから、先週の4月12日からは給食も2年生以上につきましては実施されております。小学校1年生につきましては、今週の月曜日、4月18日から給食が開始されまして、ホームページにたくさん状況が上がっておりますけれども、定番の米粉カレーからのスタートとなっております。

今後、様々な学校行事等がめじろ押しで、家庭訪問、それから授業参観、遠足、宿泊行事と、このように続いていくわけですが、先ほどもございましたが、やはりレッドステージの中、感染対策のほうを緩めることなく、その中でいかに子供たちに思い出や経験を積みさせるか、子供たちの成長につながるかということ十分に念頭に置きながら今後も続けていきたいなど、このように思っておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

以上でございます。

美濃教育長

ありがとうございました。

説明は終わりました。ただいまの件について、何かご意見、ご質問はござ

	<p>いませんでしょうか。よろしいですか。</p>
各 委 員	<p>なし。</p>
美濃教育長	<p>ないようですので、これより本日の議事に入りたいと思います。 報告1件、その他2件となっております。 それでは、報告第3号「人事異動の専決処分の承認を求めることについて」を議題といたします。 事務局より説明を求めます。</p>
田中教育総務部次長	<p>それでは、報告第3号「人事異動の専決処分の承認を求めることについて」につきましてご説明させていただきます。 議案書の次のページ、2ページ目をご覧ください。 まず、3月31日付の退職でございます。 教育委員会事務局の部長級1名、課長級1名、課長補佐級1名の3名の方々が松原市を退職され、大阪府職員になっております。つまり、先生に戻られたということです。まず、横田先生につきましては河合小学校の校長に、幸先生につきましては中央小学校の校長に、畑中先生につきましては布忍小学校の教頭にそれぞれ就任されたものでございます。 次のページをお願いいたします。 4月1日付の採用でございます。 まず、教育委員会事務局につきましては、課長級2名、課長補佐級1名の人事異動を行いました。課長級2名につきましては、大阪府教育庁と布忍小学校から教育委員会事務局の課長に就任しております。課長補佐級の1名につきましては、学校から松原市人権交流センターのほうへ出向となっております。 次のページをお願いいたします。4ページ目でございます。 同じく4月1日付の異動でございまして、教育委員会事務局につきましては、部長級2名、次長級1名、課長補佐級3名、係長級2名、係員が2名、幼稚園につきましては、係長級が1名、係員が4名となっております。 内示がありましてから4月1日までの時間がないませんでしたので、教育長専決の下、人事異動の発令をさせていただいたものでございます。 以上、説明となります。よろしくをお願いいたします。</p>
美濃教育長	<p>ありがとうございました。 ただいまの件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。よろしいでしょうか。</p>
各 委 員	<p>なし。</p>
美濃教育長	<p>それでは、ないように見受けられますので、報告第3号「人事異動の専決処分の承認を求めることについて」を承認することにご異議ございませんか。</p>
各 委 員	<p>異議なし。</p>

美濃教育長	ありがとうございます。異議なしと認めます。よって、報告第3号「人事異動の専決処分の承認を求めることについて」は承認されました。
田中教育総務部次長	ここで異動者の紹介をさせていただきたいと思います。 今回、この会議に出席している者のみをご紹介させていただきます。お名前をお呼びいたしますので、その場で立ち上がり、ご挨拶をお願いいたします。 まず、教育総務部より、教育総務部長の小峰正男でございます。
小峰教育総務部長	小峰でございます。どうぞよろしく願いいたします。
田中教育総務部次長	次に、学校教育部でございます。 学校教育部長の山森篤でございます。
山森学校教育部長	山森篤でございます。改めまして、どうぞよろしく願いいたします。
田中教育総務部次長	学校教育部次長の矢野智史でございます。
矢野学校教育部次長	矢野です。どうぞよろしく願いいたします。
田中教育総務部次長	教職員課長の猪俣圭介でございます。
猪俣教職員課長	猪俣圭介です。よろしくお願ひします。
田中教育総務部次長	教育研修センター長の大西亮一でございます。
大西教育研修センター長	大西亮一でございます。どうぞよろしく願いいたします。
田中教育総務部次長	次に、市長部局にて事務の補助執行をしております市民協働部及び福祉部におきましても、4月1日付の人事異動がございました。本日は新型コロナウイルス感染症の予防といたしまして、案件のない部署につきましては出席しておりませんので、紹介のみとさせていただきます。 まず、市民協働部につきましては、次長に下岸正典が就任しております。また、いきがい学習課長に大宅孝、参事から課長に就任しております。福祉部につきましては、子ども施設課長に藪野英人が就任しております。 教育委員会に提案する案件がございましたら会議のほうに出席させていただきますので、その際はよろしくお願ひをいたします。 続きまして、事務局に新たに着任いたしました課長補佐級職員が参ってお

	<p>りますので、ご紹介いたします。</p> <p>それでは、自己紹介をよろしくお願いいたします。</p>
小山教職員課 主幹	<p>4月1日をもちまして、教職員課主幹を拝命いたしました小山栄治と申します。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。</p>
作田地域教育 課長補佐	<p>4月1日より地域教育課の課長補佐を拝命いたしました作田明孝と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
植田地域教育 課主幹	<p>4月1日をもちまして地域教育課主幹を拝命いたしました植田厚と申します。よろしくお願いいたします。</p>
田中教育総務 部次長	<p>以上で教育委員会出席者と教育委員会事務局の紹介を終わらせていただきます。</p> <p>教育長よりお言葉をいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。</p>
美濃教育長	<p>令和4年度、こういうメンバーでしっかり松原の教育行政を進めていきたいと思っております。委員の皆様方にご協力いただきながらしっかり進めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
田中教育総務 部次長	<p>どうもありがとうございました。</p> <p>それでは、課長補佐級の職員は退席してください。</p> <p>続きまして、新しく校長、教頭になられた方々のご挨拶に見えられておりますのでご紹介いたします。</p> <p>ご参考に令和4年度の校長・教頭・園長一覧表を配付させていただいておりますので、学校一覧表の順に紹介とさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、自己紹介のほうをよろしくお願いいたします。</p>
太田松原北小 学校教頭	<p>4月1日をもちまして、新しく松原北小学校教頭を拝命しました太田賢です。よろしくお願いいたします。</p>
上口恵我小学 校長	<p>4月1日付で恵我小学校校長を拝命いたしました上口裕子と申します。よろしくお願いいたします。</p>
阪本天美西小 学校校長	<p>天美西小学校の校長、阪本幸と申します。よろしくお願いいたします。</p>
野間口天美西 小学校教頭	<p>天美西小学校教頭を拝命しました野間口司です。よろしくお願いいたします。</p>
幸中央小学校 長	<p>中央小学校校長を拝命しました幸隆之です。よろしくお願いいたします。</p>

小山天美北小学校教頭	天美北小学校教頭を拝命しました小山健二です。よろしくお願いいたします。
木村松原東小学校長	松原東小学校校長を拝命いたしました木村英也です。よろしくお願いいたします。
横田河合小学校長	河合小学校校長を拝命いたしました横田です。よろしくお願いいたします。
松井松原第二中学校長	松原第二中学校校長を拝命いたしました松井保則といいます。よろしくお願いいたします。
平井松原第六中学校長	同じく松原第六中学校校長を拝命いたしました平井でございます。よろしくお願いいたします。
田中教育総務部次長	以上でございます。 教育長よりお言葉をいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。
美濃教育長	教育委員会と学校とがしっかり同じ方向を向いて進めていくのが大事だといつも思っております。教育委員会としてもしっかり学校のサポートをしていきたいと思いますので、ぜひ松原の子供たちのために頑張ってくださいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。
田中教育総務部次長	どうもありがとうございました。 それでは、退席をお願いいたします。 以上で紹介を終わらせていただきます。どうもありがとうございました。
美濃教育長	続きまして、その他案件に入りたいと思います。 「令和4年度小学校連合運動会の中止について」の説明をお願いいたします。
森教育推進課長	令和4年度小学校連合運動会につきましては、ここ数年、新型コロナウイルス感染症の影響で中止とさせていただいておるところなのですが、今年度、この段階でやはり状況を踏まえまして、中止ということで判断をさせていただいているところです。何とぞご理解のほど、いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。 以上です。
美濃教育長	ただいまの件について、何かご意見、ご質問はございますでしょうか。
有馬委員	中止になってしまうのはもう仕方がないのかなと思うんですけども、3年連続で中止になっていると思うので、学校の反応はどうだったのかというのと、そもそもこの連合運動会が始まった理由は何だったのかというのを聞きしてもいいですか。よろしくお願いいたします。

森教育推進課
長

まず、学校現場の状況ですけれども、5年生の連合運動会を市民グラウンドのほうでさせていただくとなったときに、いつも5月のお休みの日にということで、年度当初から計画を立て、準備をしていくということになりますので、早い段階での決断というものがなくなってまいります。そんな中で、学校現場のご意見ももちろん伺いながら、今回も中止という決断をさせていただいたんですけれども、学校のほうは、やはりこの連合運動会が中止になることで、これまで予算ももちろんありましたものですから、それに代わるというわけではないんですけれども、感染症対策を進めながら、やはり子供たちのつながりであったり頑張りというものをどういった形で評価できるのか、また、子供たちに返していけるのかということでは、今後の取組に生かしていきたいということでは前向きに検討させていただいているのかなというふうに思います。

やはりたくさんの子供たちと応援の保護者の方が一堂に来られますので、ああいった形ではなかなか開催が難しいということですが、学校のほうでは子供たちの活躍の場というものを、何か形態を変えながら進めていこうということ考えていただいているところです。

山森学校教育
部長

もうちょっと古くからおりますのでお答えしますと、基本的には松原市の学校というのは、もちろん学校の中での仲間づくりだとか友達づくりというのは大切にしているわけですが、さらに他市との違いというのか松原市の一つの特徴でいいますと、校区での連携を随分大事にしてみました。それは、本年度から始まっておりますコミュニティスクールも学校単位ではなくて中学校区単位でやっていると、つまり、1つの中学校へ複数の小学校から行くわけですが、そこでの全体の子供たちの育ちを9年間、もっと言えば幼稚園も含めて11年間考えていこうというのがこれまでの松原市のスタンスでございます。

ただ、7つの校区でそういう小学校同士のつながりだとか小と中のつながりというのはあるわけですが、年に1回ぐらいは松原市全体の中でお互いが、ああいう学校があつてあんなふうに頑張っている仲間がいるみたいなことを知るような機会があつてもいいんじゃないのかなと、こういった発想がありました。ただそれを全ての学年でやるというのはなかなか難しいことですので、5年生で一堂に会して、運動を通じてお互いのよさを見詰め合おうというような、こういった形で始まったのが平成26年度のことだったというふうに思っています。

以上でございます。

有馬委員

ありがとうございました。

これから先、多分ウィズコロナということなので難しいのかなと思っていたので、それだったら先ほどおっしゃった中学校区、例えば五中校区なら天美小学校と天美西小学校の2校だけで中学校の運動場で5年生だけでやるという、そういうつながりがあつてもいいんじゃないのかなと。全てが駄目、中止じゃなくて、分散して各中学校で行ってもいいのではと思ったんですけれども、そうなるとうっかり先生方の負担もまた出てくるからどうなのかなというのはあつたので、もしよければ一度考えていただければと思います。

山森学校教育 部長	有馬委員のおっしゃられたことはかねてから、このコロナで一堂に会しての 連合運動会ができなくなったあたりから、運動を通じて、何とかもう少し 人数を絞った、つまりは校区単位ぐらいでの何かつながりができないのかな と、というようなことを考えながら学校とは話をしておりますので、学校の ほうも事務局のほうもそういった意識を持っておりますので、そういったこ とで形になるように、今後また検討してまいります。ありがとうございます。
有馬委員	よろしく申し上げます。
美濃教育長	ほかにごございますでしょうか。よろしいですか。
各 委 員	なし。
美濃教育長	続きまして、その他案件「小中学校におけるメッセージ電話対応について」 の説明をお願いいたします。
小峰教育総務 部長	<p>お手元のほうに「小中学校におけるメッセージ電話対応」という資料が一 枚ございますので、そちらをご参照いただきたいんですけども、内容とし ましては、2段目に書いてございます。</p> <p>今まで小中学校においては、学校にかかってきた電話をそのままつなぎっ 放しにしていたんですけども、一定時刻以降にかかってきた電話につつま しては、教育委員会事務局に設置したメッセージ対応の電話機に転送され るように設定をさせていただきまして、メッセージの内容としましては、業 務時間終了につき、翌日の業務時間内に再架電いただきたい旨のメッセ ージを流させていただこうというふうに考えてございます。</p> <p>なぜこのようなことをするのかという目的でございますが、上段の目的 の下の「教員の働き方改革と児童生徒の学力向上に向けた環境整備 の両立を目指す」という目的でさせていただきたいというふうに考えて ございます。</p> <p>開始時期につきましては5月16日の月曜日からというふうに考えていま して、設定時刻は、平日は午後6時30分から翌午前7時半まで、土日祝日 につきましては終日、先ほど説明しました転送によりましてメッセージ 対応というふうな形になります。</p> <p>そこで緊急対応のときには、3の丸に書いてございますように、市役所 の夜間宿直から教育委員会担当、それから担当者のほうにという形で、 これは従来どおり緊急の場合はそのような形で対応させていただくとい うふうに思っております。</p> <p>周知の方法でございますけれども、この内容につきまして、保護者の方 に文書配付、それから学校のホームページに掲載、それから直前にも同 様に文書配付を考えております。何とぞご理解いただきますように、ど うぞよろしく申し上げます。</p> <p>私の説明は以上でございます。</p>
美濃教育長	ただいまの件について、何かご意見、ご質問ございませんでしょうか。

田中委員

意見ではないんですけれども、これは他市でもやっておられると、何か以前にも聞いたことがございまして、いいというか、働き方改革という面からすると一つの手段かなとは思っております。

ちなみに保護者に1か月前から周知するというので、今日は20日でまだそんなにないんですけれども、反応のほうはどうなんでしょうか。

山森学校教育
部長

保護者への周知文書は25日配付を考えているんですけれども、教職員にはいち早く周知をしております、昨日、二、三の校長とやり取りをしたんですけれども、大変ありがたいと、そういう反応が非常に多いです。

ただ我々、これは教育委員会の中でも危惧していることが、遅くに本当に大事なことでつながりたい保護者がつながれないようなことの懸念というのは、やはりどうしてもどの学校にもあるんだと、こういう声はいただいております。もちろん、先ほど小峰部長からあったように、緊急の連絡方法につきましては確保しつつ、やはり大事なことは家庭と学校と教育委員会も共有をしまいたいと、こんなふうに思っておりますので、25日に周知をしまいたします。

田中委員

ありがとうございます。

美濃教育長

すみません。私からも少し補足させていただきますと、実はこれは私の強い希望というか、その理由としては、昨年末に文部科学省のオンライン研修がございまして、他の自治体の教育長といろいろディスカッションをする機会があったんです。そのときに働き方改革をテーマにして論じ合う時間があったんですけれども、松原市以外の一緒にグループになった自治体の方々は、皆さん様に、電話はもう夜間はメッセージあるいは留守電で対応しているということでした。

私のほうからは、何か保護者の方、市民の方からの苦情はなかったのかとか、今ここで対応しておいたほうが後々引きずらない、大きな問題にならないから今日のうちに片づけたいというような思いもあって、今までそういうのに踏み切れなかったんだという説明はしたんですけれども、既に踏み切った自治体の方々は一様に口をそろえて、同じような懸念は最初あったんだけど、実際にやってみたら苦情めいたものは一切なかったということをおっしゃっておられたので、それであれば松原だけできない理由というのはないんじゃないかなというふうに思いました。

そこで、しっかりそういう緊急の対応は今までと同様に対応が甘くなるというようなことがないのであればやれるんじゃないかなと思ひまして、それで今回こういうふうに踏み切らせていただこうというふうに考えた次第でございます。

ほかに何かございましたら、よろしいですか。

各委員

なし。

美濃教育長

ありがとうございました。

ほかに何かございますでしょうか。

と言いつつ、私から、お配りしてある新聞記事のことについて少しだけ触れたいんですけれども、よろしいでしょうか。

以前もこの教育委員会議の中で、チームによる事務局でのインターンシップというのを考えていますというようにお話をしていたかと思うんですけども、今年度からそれをもう実際にやろうと思っております。あさって、金曜日に事前説明会というのを開かせてもらおうと思います。何で事前説明会かという、最大半年ぐらいかけてどっぷりつかってやるインターンシップなので、それなりの覚悟も学生側には必要でしょうし、軽い気持ちで申し込むということが逆にならないよという意味でしっかり説明させていただこうと。そういうハードルが高いものでもあえてやりますよという意欲のある学生を集めたいという意味で事前説明会というのを設けることにしました。

今日のお昼時点で事前説明会への参加申込みは17名です。思っていたよりも多い人数、都合があって来られないかもしれない学生がいることを考えれば、17名というのはまあまあいい反応が出ているんじゃないかなと思っています。

本申込みの締切りは5月23日ということにしてはいるんですけども、しっかり周知をして、せっかくやるわけですので、いい取組になるように頑張っていこうと思います。途中でまた委員の皆様方にもいろいろご相談したり、逆に情報提供したりということもあるかもしれませんので、そのときにはぜひよろしくお願いします。

田中委員

学生にとっては、単位取得にはなるんですか。

美濃教育長

単位取得については事前に大学とも相談をさせていただいたんですけども、そこはやはりそれぞれの大学のご判断によるのかなというところで、こちらから単位認定をしてくださるとはちょっと言えないので、そこはそれぞれの大学の事情に応じて、するところもあればしないところもあるかもしれないという状況でございます。

有馬委員

違う件ですが、今年も学校訪問があるのかどうなのか。もしあれば、例年どおりなら5月から始まり、6月で小中へ行くんですけども、もしやっぱり今回コロナで厳しいというのであれば、毎年のように学校の様子というのが全くもって、行けていないので分からなくて、もし学校訪問がなければ、各小中学校の今年1年の柱というか、力を入れて臨むこととか、各学校における課題であると思うんですよ、学校によって。なので、こういうことが課題でありますとか、児童生徒数や新任の先生について、もしよろしければ何らかの形で教えていただけたら、松原市の各学校ではこういうことに力を入れる課題があるということはやっぱり共有したいなと思うので、できれば教えてもらったらなと思います。そういうことは可能ですか。

矢野学校教育
部次長

現状でいいますと、この間ずっと、先ほども連合運動会の議論でもあったとおり、なかなか難しいところはあるんですけども、本当にもうコロナと共存していくということもありますので、何らかの形で教育委員の皆様にも学校の様子をきちんと見ていただけるような場については、今後きちんとまた議論をした上で提案をしてまいりたいなというふうに考えておりますので、しばらくちょっとその辺はお時間をいただきたいと思っております。

ただ、やっぱり見られていないの間ではありますけど、学校の様子をつぶ

さを感じていただいたり、今の課題が何なのかということについてきちんと共有していくという面についてはとても大切な部分でありますので、その部分についてはまたしかるべき場できちんと提案できますように調べたいと思っておりますので、ご意見としてお伺いしたいと思います。ありがとうございます。

有馬委員

お願いします。
以上です。ありがとうございます。

美濃教育長

私も校長会、教頭会でも申し上げておるんですけども、授業参観などもずっとできなかった状況の中で、学校の様子、子供たちの様子というのをとにかくホームページなどを使ってしっかり発信してくださいということはお伝えしておりますので、それも継続してやっていただきながら、学校訪問を再開できるかとか、今、矢野次長も申し上げたような形で情報をみんなで共有できるかどうかということについては、ちょっと検討させていただきたいと思っております。よろしくお願いします。
ほかに何かございますか。よろしいですか。

各 委 員

なし。

美濃教育長

それでは、短時間で恐縮ですけども、これをもちまして4月の定例教育委員会を終わりたいと思います。ありがとうございました。
(閉会宣言 午後4時37分)

署 名 教育長 美濃 亮

委 員 有馬 章丞